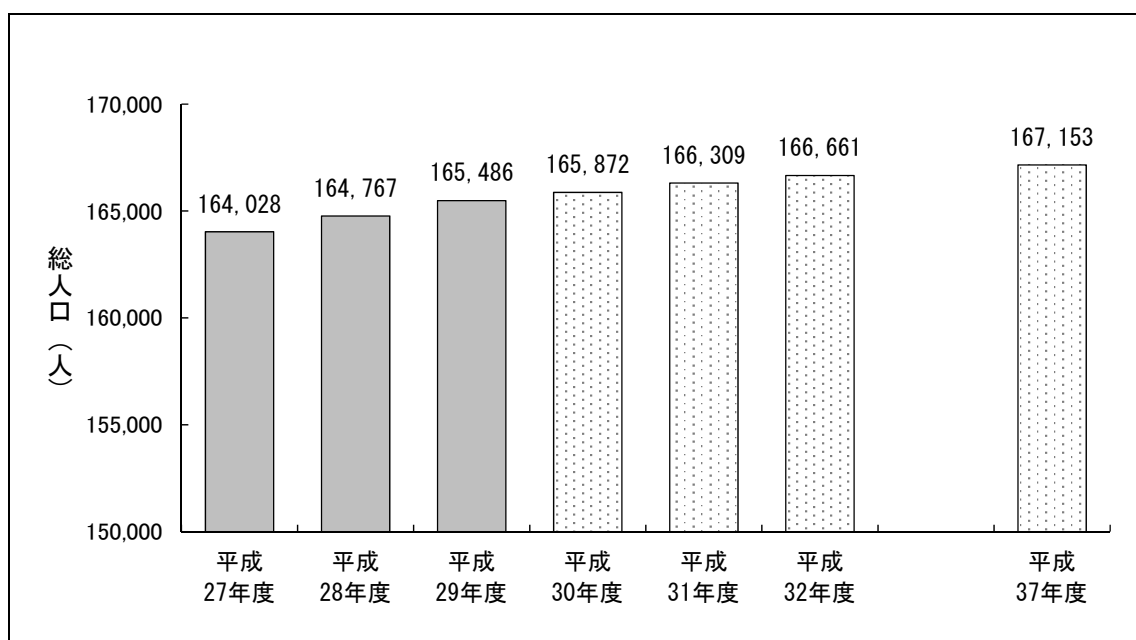


第2章 高齢者の現状と将来推計等

1 総人口の推移

平成29年度（平成30年1月1日現在）の総人口は165,486人となっています。これをコーホート変化率法[※]により男女別・1歳別に推計した結果、今後ともわずかずつ増加を続け、平成32年度には166,661人、平成37年度には167,153人となることが予測されます。

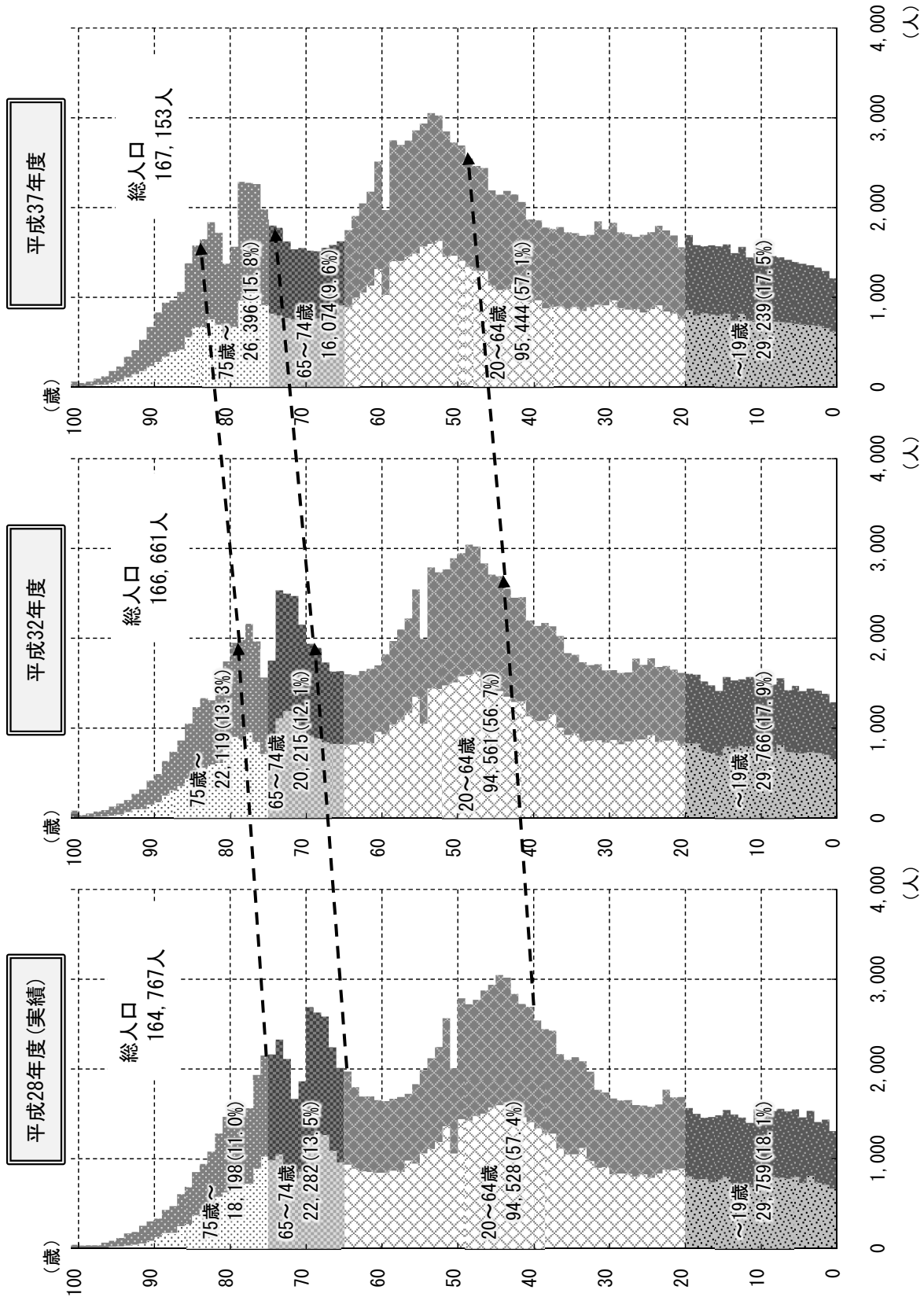
図 総人口の推移（各年度1月1日現在）



資料：実績値（平成27年度～平成29年度）は住民基本台帳（各年1月1日現在）
推計値（平成30年度以降）は介護保険課による推計

[※] 「コーホート変化率法」とは、各コーホート（同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団）について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法のことです。

図 人口ピラミッド（各年度1月1日現在）



※ 年度別の図表中、それぞれ左側を男性、右側を女性で表現しています。
 資料：平成29年は住民基本台帳人口、平成32年及び平成37年はコーホート変化率法による推計（介護保険課）

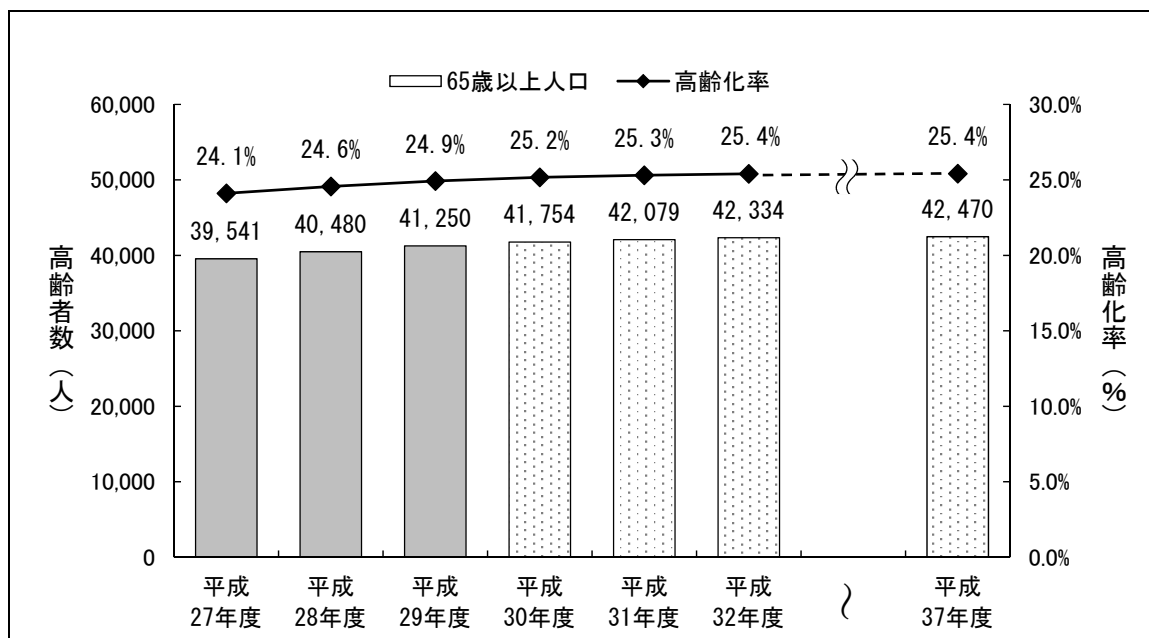
2 高齢者の現状

(1) 65歳以上人口の推移

平成29年度(平成30年1月1日現在)の65歳以上人口は41,250人で、高齢化率は24.9%となっており、これを平成27年度からの推移で見ると、高齢者数の増加とともに、高齢化率も年々高まっています。

高齢者数は今後とも緩やかに増加を続けていき、平成32年度で42,334人、平成37年度で42,470人となることが予測されます。

図 高齢者数及び高齢化率の推移(各年度1月1日現在)



資料：実績値(平成27年度～平成29年度)は住民基本台帳(各年1月1日現在)

推計値(平成30年度以降)は介護保険課による推計

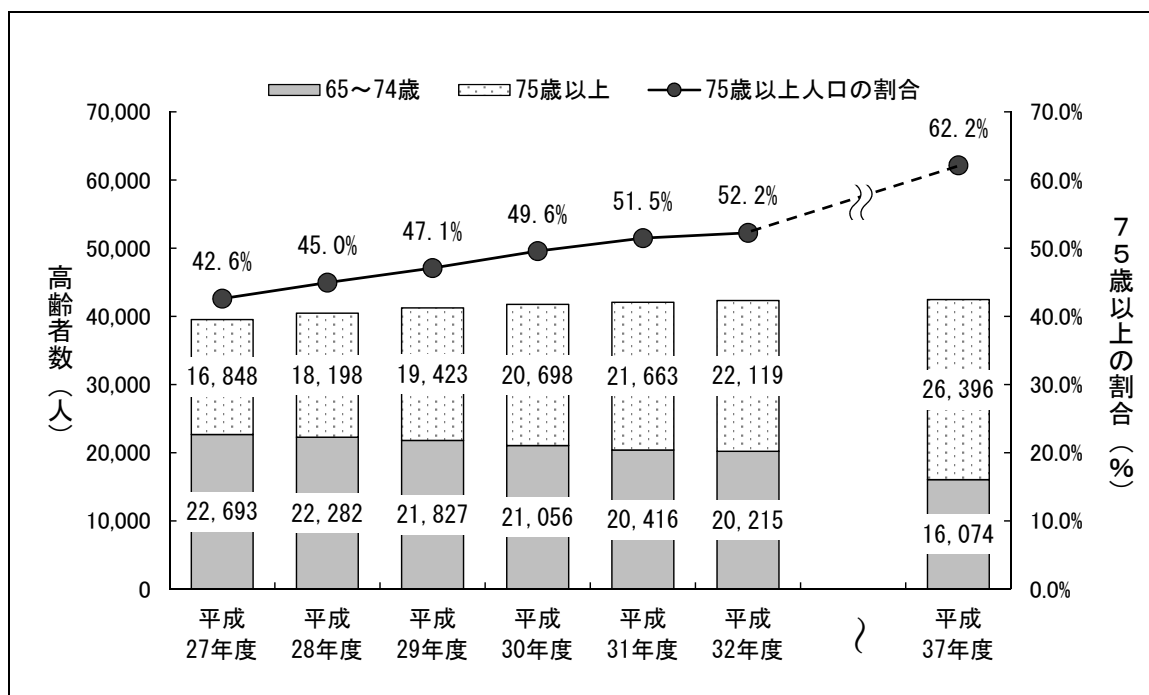
(2) 年齢区分別にみた高齢者数の推移

高齢者数を年齢区分別にみると、平成29年度（平成30年1月1日現在）の65～74歳までの前期高齢者人口は21,827人、75歳以上の後期高齢者人口は19,423人となっています。

また、65歳以上人口に占める後期高齢者人口の割合に着目すると、平成29年度は47.1%であり、平成30年度以降も毎年増加していくことが予測されます。

後期高齢者人口の割合は、いわゆる団塊の世代が75歳に到達する平成37年度にピークを迎えることが予測されています。なお、本市は昭和40年代以降に働き盛りの世代として団塊の世代よりも年長の世代の転入が多かったことから、平成27年度から毎年概ね2.0%の上昇が見られ、平成31年度に後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回ることが本市の特徴となっています。

図 年齢区分別高齢者数の推移（各年度1月1日現在）



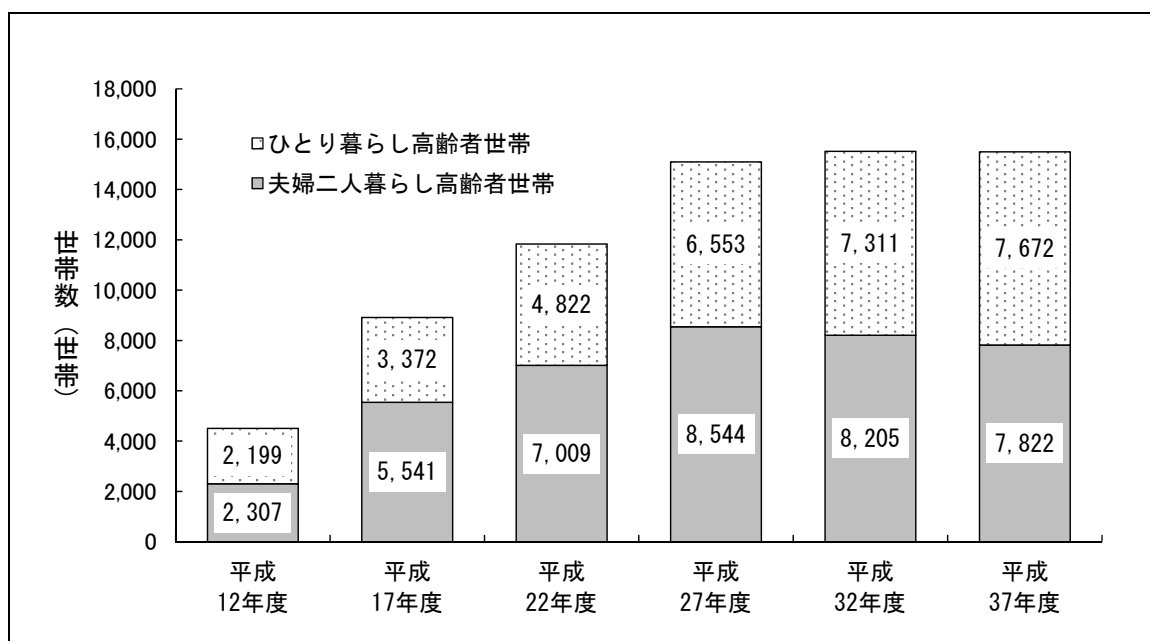
資料：実績値（平成27年度～平成29年度）は住民基本台帳（各年1月1日現在）
推計値（平成30年度以降）は介護保険課による推計

(3) 高齢者のいる世帯の推移

ひとり暮らし高齢者世帯・夫婦二人暮らし高齢者世帯をみると、平成27年度（10月1日現在）は6,553世帯・8,544世帯で、平成12年度からの15年間で急激に増加してきました。総世帯に占める割合は22.5%となっています。

今後の世帯数の動向を推計したところ、平成27年度以降はひとり暮らし高齢者世帯及び夫婦二人暮らし高齢者世帯ともに増加のペースが鈍化していくことが予測されています。

図 ひとり暮らし高齢者世帯及び夫婦二人暮らし高齢者世帯数の推移



資料：実績値（平成12年度～平成27年度）は国勢調査（各年度10月1日現在）、推計値（平成32年度以降）は『日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）』（2014年4月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）による世帯主の男女・年齢5歳階級別・家族類型別世帯主率を各年度1月1日現在の推計人口に乗じて増加率を求め、平成22年度実績に増加率を乗じて求めたもの

3 介護保険の実施状況

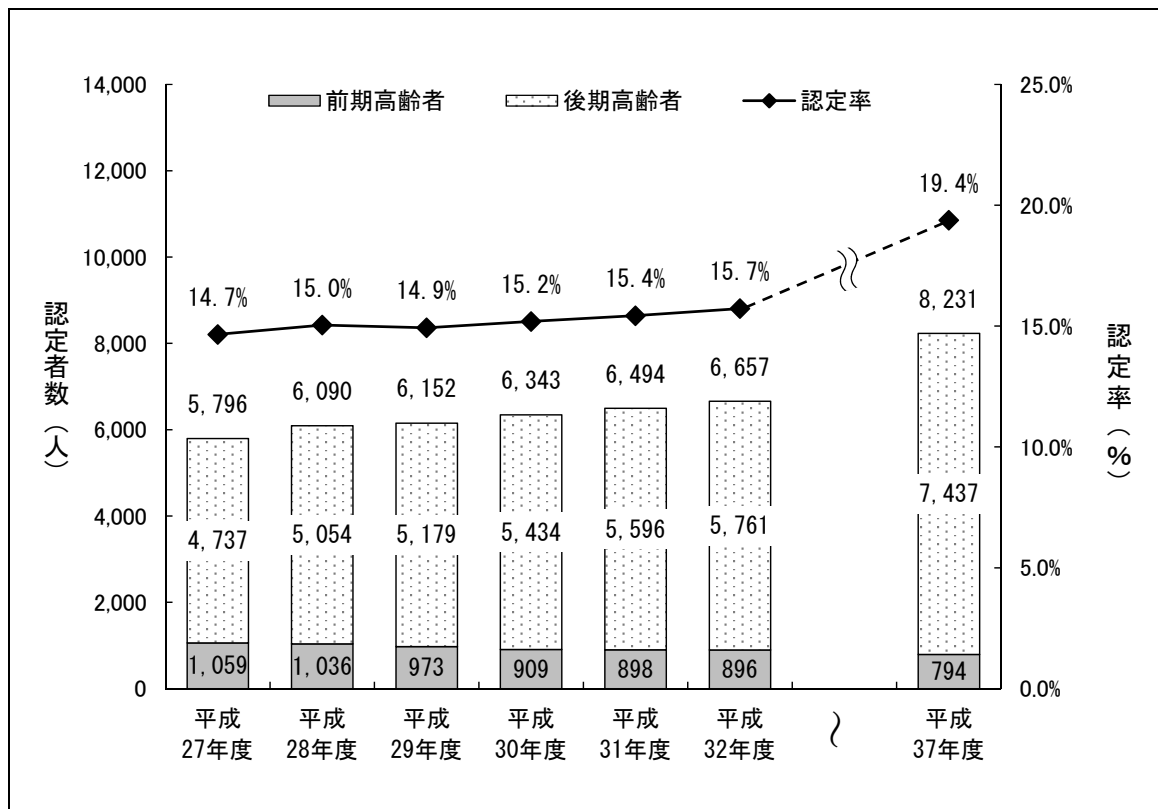
(1) 要支援・要介護認定者数の推移

平成29年度（10月1日現在）の要支援・要介護認定者数は6,152人で認定率*は14.9%となっています。

今後の推計では、後期高齢者人口の増加により、要支援・要介護認定者数及び認定率ともに年々増加していくことが予測されます。

要支援・要介護認定者数は、平成32年度には6,657人となり、平成27年度に比べて861人の増加となったのち、平成37年度には8,231人で平成27年度に比べて2,435人の増加と見込まれます。

図 要支援・要介護認定者数の推移（各年度10月1日現在）



※平成30年以降の認定者数・認定率は、厚生労働省作成の地域包括ケア「見える化」システムを用いた推計。

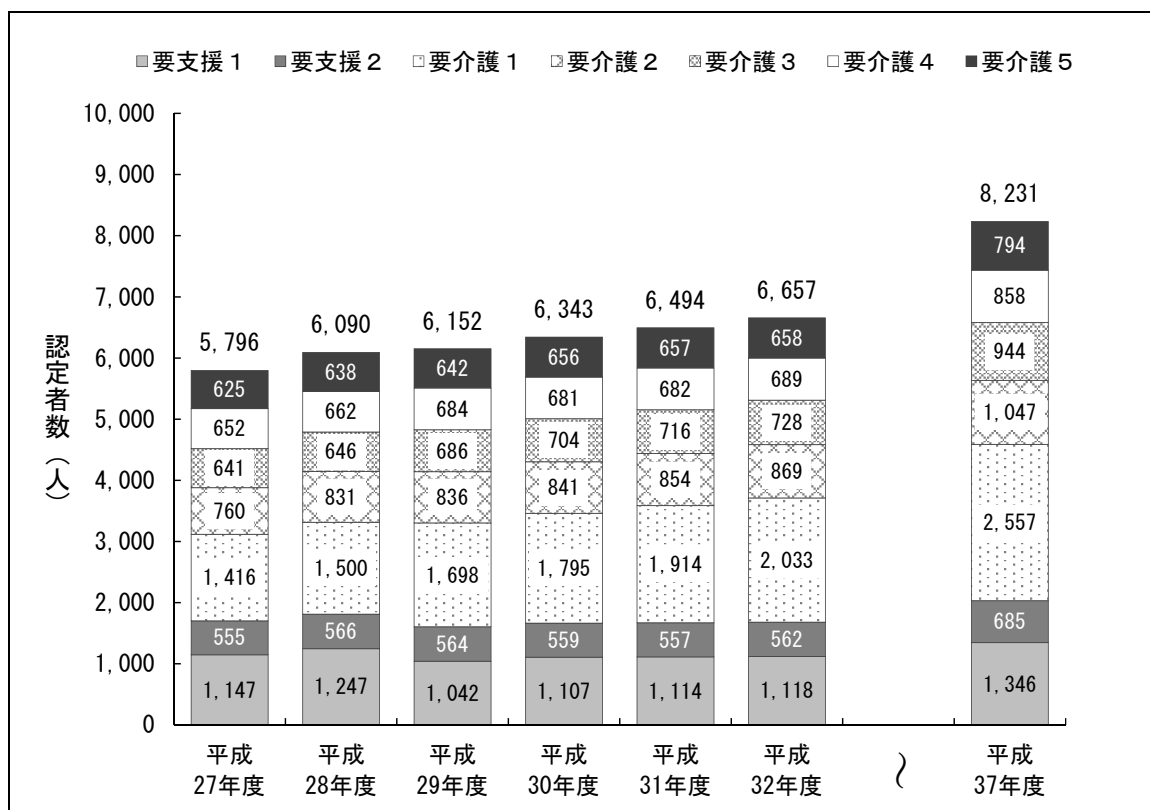
* 被保険者に対する要介護・要支援認定者の割合。通常は第1号被保険者に対する第1号被保険者の要支援・要介護認定者をいう。

(2) 要介護度別認定者数の推移

平成29年度（10月1日現在）の要支援・要介護認定者を要支援・要介護度別にみると、要介護1が1,698人で最も多く、次いで要支援1が1,042人で2番目に多くなっています。

要介護度別の今後の推計においても概ね増加傾向となっていますが、平成32年度にかけては要支援1の増加率が大きく、平成29年度と比べた増加率は、要介護1が1.20倍となっています。また、平成37年度にかけては要介護1及び要介護3の増加率が大きく、平成29年度と比べた増加率は、要介護1が1.51倍、要介護3が1.38倍となっています。

図 要介護度別にみた要支援・要介護認定者数の推移（各年度10月1日現在）

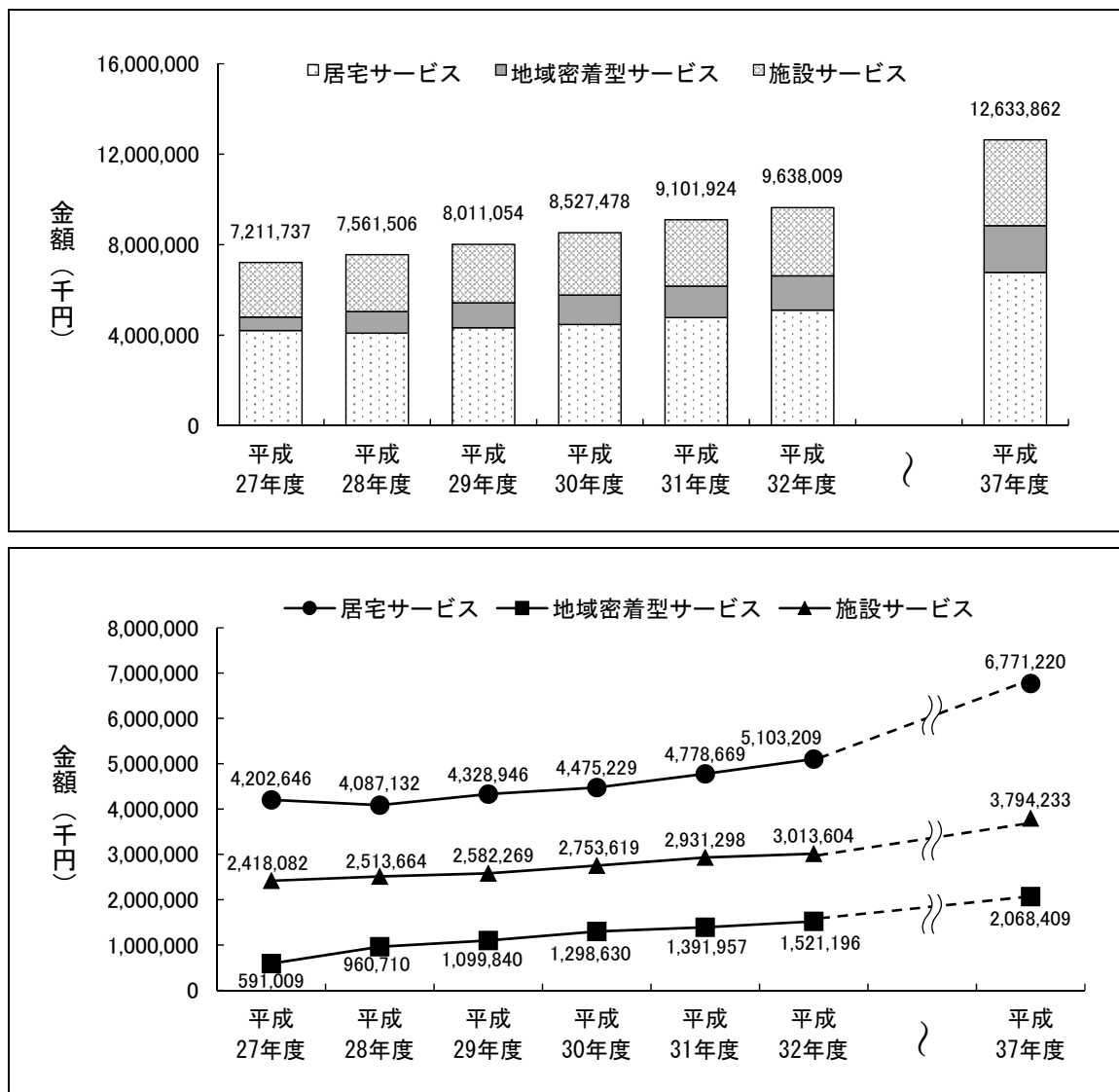


※平成30年以降の認定者数は、厚生労働省作成の地域包括ケア「見える化」システムを用いた推計。

(3) サービス給付費の推移

サービス給付費は年々増加しており、平成29年度には80億円となっています。今後の推計でも要支援・要介護認定者の増加等によって年々増加が予測され、平成32年度には96億4千万円、平成37年度には126億3千万円となることが予測され、特に、居宅サービスの増加が大きくなることが予測されます。

上図 サービス給付費の推移 下図 居宅・施設別の支給額の推移



※平成30年以降の給付費は、厚生労働省作成の地域包括ケア「見える化」システムを用いた推計。平成27～28年は介護保険課調（但し、平成29年は介護保険事業状況報告8月月報までの実績値に基づく推計）

※総支給額は、介護サービス費と介護予防サービス費を合わせた金額であり、特定入所者介護サービス費等給付費、高額介護サービス費等給付費、高額医療合算介護サービス費等給付費及び審査支払手数料は含みません。

資料：介護保険事業状況報告（年報）

4 平成37年度に向けた中・長期的な推計

総人口、要支援・要介護認定者数及びサービス給付費について、実績値である平成28年度、平成32年度及び平成37年度の数値を比較すると、平成28年度から平成37年度までの伸び率で総人口が1.01倍であるのに対し、65歳以上人口は1.05倍となり、特に75歳以上人口の伸び率が1.45倍と大きく増加することが予測されます。このような人口構成の変化を受けて、要支援・要介護認定者数も増加し、サービス給付費も平成28年度を1.00とする指数は平成37年度には1.67倍になることが予測されます。そのため、平成37年度に向けた中・長期的な視点から、市内の各日常生活圏域において地域包括ケアシステムの実現に向けた取組を計画的に推進していく必要があります。また、自立した高齢者から重度の要介護者にいたるまで、それぞれの状態に応じた介護予防施策を強化するとともに、すべての高齢者が健康で生きがいのある生活を営むことのできる地域づくりの推進が求められています。

区 分	平成28年度	平成32年度	平成37年度
総人口（人）	164,767 1.00	166,661 1.01	167,153 1.01
65歳以上人口（人）	40,480 1.00	42,334 1.05	42,470 1.05
うち65～74歳	22,282 1.00	20,215 0.91	16,074 0.72
うち75歳以上	18,198 1.00	22,119 1.22	26,396 1.45
要支援・要介護認定者数（人）	6,090 1.00	6,657 1.09	8,231 1.35
うち要支援1・2	1,813 1.00	1,680 0.93	2,031 1.12
うち要介護1・2	2,331 1.00	2,902 1.24	3,604 1.55
うち要介護3～5	1,946 1.00	2,075 1.07	2,596 1.33
サービス給付費（千円）	7,561,506 1.00	9,638,009 1.28	12,633,862 1.67
居宅サービス	4,087,132 1.00	5,103,209 1.25	6,771,220 1.66
地域密着型サービス	960,710 1.00	1,521,196 1.58	2,068,409 2.15
施設サービス	2,513,664 1.00	3,013,604 1.20	3,794,233 1.51
地域支援事業費（千円）	184,323 1.00	635,007 3.45	713,778 3.87
介護保険料（指数）	1.00	1.09	1.65

※下段は平成28年度を1.00とする指数